

父母連ニュース

草加市保育園父母会連合会 機関紙

2011年度 第4号/2011年9月10日発行

発行責任者：高山 943-2616

表面：父母連アンケートのお願い、育成保育保護者交流会報告

裏面：父母連アンケート補足資料「定員弾力化の近年の傾向について」



父母連アンケートのご協力よろしく申し上げます

草加市保育園父母会連合会会長 高山幸一郎

●父母連アンケートについて改めてご説明します

父母連アンケートは、公立保育園全18園の父母会会員のみなさんをお願いして、保育園に子どもを預ける私たち保護者が、いまだのようなことに困っているのか、どのような保育施策を望んでいるのか等のニーズを把握し、市長懇談会等を通して行政へ要望を上げていくために毎年集計しています。例年6月に実施していますが、今年度は6月から各園において完全給食が実施され始めたことを受けて、完全給食が実施されて3カ月経過したこの時期に実施することになりました。

なおこの父母連アンケートですが、例年以下のようなご意見が寄せられます。

・毎年同じような要望項目でアンケートをしているが、どうしてでしょうか？

・毎年要望しても実現しないことも多い。アンケートを取り続ける意味があるのでしょうか？

父母連としては以下のように考えています。

- ①アンケートが毎年同じような項目となっているのは、経年による傾向を把握するためです。保育に関する満足度や実現してほしい要望等を毎年のデータを蓄積することで、どのような経緯や傾向をたどっているのか、待機児数との関連はあるのか否か等を分析するためにも、基本となるような項目をある程度固定化してお聞きしています。ただし、その年によって必要と思われる質問項目は適宜増やしています。
- ②要望がなかなか実現しないことについては、私たち父母連としても課題としてとらえています。ただ市の限りある予算の中から子育て政策、保育政策に予算を回すことは容易なことではありません。これまでも、毎年のように粘り強く要望し続けることによって実現してきたものがいくつかあります。もちろん、今回の完全給食の実施（まだまだ課題は多いですが）もその代表例です。他にも…

○障がい児保育（育成保育）の全園実施（04年度～） ○産休明け保育の実施

○「協力期間」のとりやめ ○市の保育園統廃合方針の撤回と保育園の新設

○全保育室へのエアコンの整備 ○第2きたうら保育園の存続（2009年度まで）

○保育園と家庭保育室利用の保育料きょうだい減免 ○延長保育実施園の拡充

○待機児がいる間の公立保育園における0歳児保育の段階的廃止・移行の凍結 等々があります。

これらについては、私たち保護者が声をあげていかなければ、もしかしたら実現しなかったものもあるかもしれません。またこれらも単年度で要望をあげて実現したわけではなく、何年もかけた粘り強い運動の結果として実現したものです。

父母連アンケートで要望を実現していくためにも、みなさんのアンケートへのご協力が不可欠です。アンケートの回収率が高ければ高いほど、それは市民のニーズとして重く受け止められます。

今後ともぜひご協力をお願いします。

「育成保育保護者交流会」報告

7月30日に育成保育保護者による交流会が行われました。5年目となります交流会ですが、多数参加していただき意見や情報を話しあう事ができました。交流会のなかでは、子ども達が楽しく保育園生活を送っている話が多かったようです。延長保育、加配の先生がお休みの場合などいくつかの問題が挙げられました。また、多くの方々から小学校入学について心配という話も出ていました。次回は育成保育OBの方



にご出席いただき、小学校の入学準備などの話をお聞きしたいと感じました。普段話す事ができない悩みを話す事ができ、交流会の大切さを再確認しました。これからは、年1回ではなく年数回開催できたらいいなと思います。お忙しい中ご出席いただきありがとうございました。
(事務局：浜藺)